

図書館だより

今月の新刊

基山町立図書館

☎ 92-0289

基山町大字宮浦 60-1

■休館日

月曜日・年末年始・特別整理期間

■開館時間

午前9時～午後6時

<https://kiyama.libweb.jp/>



4月の開館予定

：休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

4月1日は基山町立図書館の開館記念日

(令和8年4月1日で10周年です)

第68回「こどもの読書週間」

期間:4月23日(木)～5月12日(火)
今年の標語:「ことばがきみのはねになる」

こどもの読書週間事業

◆「絵本の展示」

期間:4月23日(木)～5月12日(火)
場所:児童コーナー
内容:絵本万博 ことばっておもしろい

◆「絵本のおたのしみ袋」

日時:4月25日(土) 午前9時～なくなるまで
場所:ブラウジングコーナーの一角
内容:職員おすすめ絵本のセット貸出
※図書カードに3冊分の空きが必要。
※本の返却期限は2週間。

◆「春の交通安全紙芝居&図書館開館10周年記念杯こどもかるたとり大会」

日時:未定
場所:多目的室
内容:①元声優さんによる大型紙芝居
②「きやまかるた」でかるたとり大会
小学生低学年の部、高学年の部
対象:小学生 定員:30人程度
(申込不用先着順、参加無料)

◆「スペシャルおはなし会」

日時:5月3日(日) 10時30分～1時間程度
場所:多目的室
内容:人形劇、パネルシアターほか
対象:小学生(未就学児は保護者同伴)
定員:30人程度(申込不用先着順、参加無料)



大地よ! アイヌの母神、宇梶静江自伝

宇梶 静江 / 著 藤原書店 / 刊

北の大地 = アイヌモシリの自然の中で父母の慈愛に包まれて、貧しいながらも豊かな時を過ごした少女は、職を求め、東京へ。63歳でアイヌの精神性を表現する“古布絵”と出会い、作品制作の活動に入る。アイヌとして生きる女性が、自らの内なるアイヌ、内なる大地を切り拓き、その生涯をかけてアイヌの精神性を問うた軌跡。

1回3分! 一生歩ける足をつくる 「ながら足踏み」



桑原 靖 / 著 菱沼 遼 / 著
PHP 研究所 / 刊

テレビを見ながら、家事をしながら。特別な時間も道具もいらず、家の中ででき、歩行とほぼ同じ運動効果が期待できる新しい運動習慣を提案。シンプルで安全な運動法で、天候や体調に左右されることなく、365日いつでも自宅で続けられる。足の健康を保つ靴選びや生活習慣も紹介。

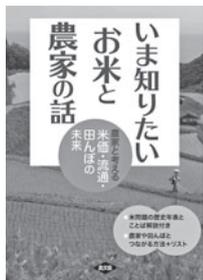
大河の一滴最終章

五木 寛之 / 著
幻冬舎 / 刊



人は何かのために生きるのではない。誰かのために生きるのだ。常に、再生の希望はある。少年時代の引揚体験、思いがけない病の宣告…。あえて、大河の流れに逆らうことを決意した、93歳の告白の人間論。心の内戦に疲れたすべての現代人へ贈る、強く生き抜くためのメッセージ。

いま知りたいお米と農家の話



農山漁村文化協会 / 編
農山漁村文化協会 / 刊

「令和の米騒動」をデータで振り返り、農家農村の実情を伝えるとともに、農家が農業を続けられるしくみなどを考察。お米はなぜ足りなくなったのか。米価はどのように決まるのか。農家の考える適正価格とは。米問題を歴史の視点でもふり返り、作り手と食べ手のどちらにも無理のない出口を探る。

人生がちょっとよくなる読書術

斉藤 洋 / 著
講談社 / 刊



本を読んでも偉くはならないが、人生は楽しくなる。読み始めた本を最後まで読む必要はない。本には「出会うタイミング」がある。レジェンド童話作家が、読むことがおもしろくなる思考法、本の読み方の極意を語る。

「こんな本もいかがですか」

- 禅 COJI コジコジと禅のことば さくら ももこ / 著
- 読むこと考えること 養老 孟司 / 著
- 死ぬまで元気 88 の読むサプリ 和田 秀樹 / 著
- 異常気象の未来予測 立花 義裕 / 著
- 仕事と人生に効く 教養としての囲碁入門 大沢 摩耶 / 著
- 朝鮮漂流 町田 康 / 著
- 生きとるわ 又吉 直樹 / 著
- グレタ・ニンプ 綿矢 りさ / 著
- 春かすら 澤田 瞳子 / 著
- 大人の小学校 田村 淳 / 著